

# 労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2015年1月22日 第13号

## ▲△1：年末年始の冬山遭難事故について

労山会員1名が富士山で死亡事故（31歳）

今年も年末年始に富士山や南アルプス、北アルプス、日光山域などで冬山遭難が相次ぎました。残念ながら栃木県連盟所属の労山会員（男性31歳）が富士山で死亡しました。事故者は山行計画書によると、2日に富士山（山梨県側）富士吉田口コース・馬返し⇄2合目ピストン（日帰り）で登山に向かったが、家族から夜になっても帰らないとの連絡をうけて、翌日から空と地上から捜索中のところ、1月4日5合目付近で発見されました。山梨県警は5日に死因を頸椎骨折と断定、上から5合目の沢付近まで滑落したものとみています。所属会では、冬山の経験も浅かったことから山行管理者の再度の助言があったにもかかわらず、届け出以上の山域に踏み込んだことが事故につながったと分析していますが、これからの労山を担う若手会員ただだけに非常に残念な事故でした。

五合目佐藤小屋に現地本部



五合目付近の沢を捜索活動



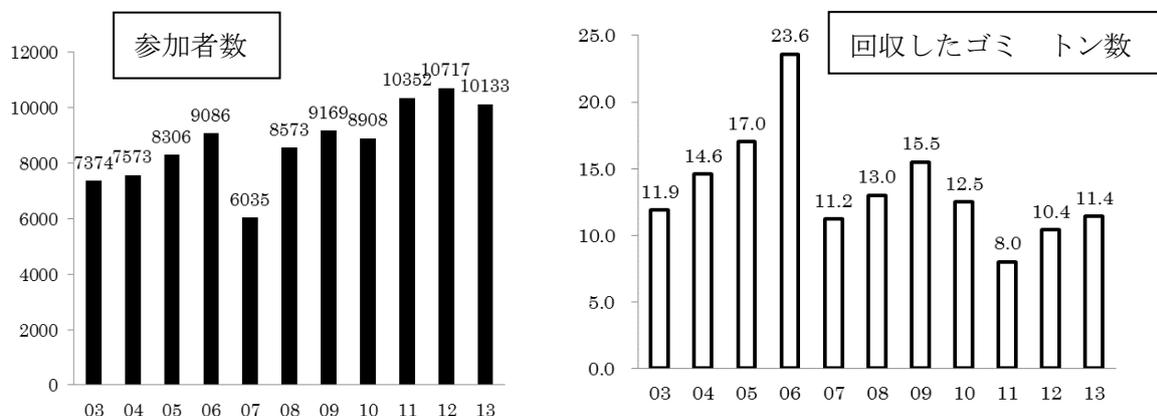
このほかのニュースはいずれも労山会員外ですが、北アルプス・燕岳では山梨県の女性（64歳）の死亡、南アルプス・北岳では京都府の女性（42歳）の死亡、日光・女峰山では埼玉の男性（47歳）の死亡が確認されています。また、12月28日に富士山9合目で滑落した富士吉田市内の男性（31歳）はまだ見つかっていません。

## ▲△2：2014年全国いっせいきりんハイク・清掃登山

520会・クラブより9,729人が参加

2014年の全国クリアンハイク・清掃登山の最終集計がまとまりました。（カッコ内数

字は昨年度)。37都道府県連盟(33連盟)がこの活動に参加しました。天候不順のため2県連盟が中止を余儀なくされましたが、全国で520の会・クラブが457コース(593会・443コース)に取り組みました。参加した人は延べで9,729名(10,176人)、集めたゴミは全部で7,706キログラム(11,790kg)となりました。



昨年と比較して登山道にはゴミは少ないという報告が多数寄せられました。これは「登山者のマナーの向上と関係者の努力が実っている」ということの反映だとみております。しかし、登山口周辺や登山口に近い休息場所などにペットボトル、ビール缶、ビニールなどが散らかっているとか、「不法投棄が多く、これらの実態を行政にしっかり伝えることが必要」という意見も寄せられているのも事実です。労山のクリーンハイク・清掃登山をアピールするために、「クリーンハイク実施中」と書いたカードを登山者に配布しながら活動していることや、また、ゴミ拾いだけでなく、水質調査、登山道整備、携帯トイレに関するアンケート実施などの多角的な活動をしている地方連盟もありました。今後は「登山口にあるトイレの清掃やゴミ箱の清掃など活動範囲を広げたい」、「自然破壊の実態も調査して行政にしっかり伝えていくことも大切」、「ニホンジカによる高山植物の被害の実態調査」などの多角的な活動にも取り組んでいきたいと報告されています。

---

### ▲△3：公的機関への登山届け義務化の動き

御嶽山、焼岳、新潟・焼山にも拡大へ 長野県でも検討

---

昨年御嶽山の噴火で多数の犠牲者がでて、捜索も難航したことをきっかけに、公的機関(県警)への登山届け義務化の動きが強められています。

すでに岐阜県では県条例を制定し、槍・穂高山域の岐阜県側について、登山届け提出義務化を昨年(2014年)12月1日からスタートさせました。これに続いて、活火山の危険性がクローズアップされるなか、対象区域を今年4月1日から御嶽山(火口から4km以内)と焼岳(同2km以内)にも拡大する条例改定を行いました。

新潟県でも、同じく活火山である妙高山域の焼山（標高 2400m）について、登山届けを義務化する条例案骨子をまとめ、2月県議会に上程する予定です。焼山では、1974年に今回の御嶽山と似た水蒸気爆発で、3名の登山者が死亡しています。また、長野県でも2月県議会に「登山安全条例」（仮称）を提出し、届出義務化をすすめる考えだと伝えられます（その内容はまだ明らかにされていません）。

こうした動きとあわせて、県警への登山届の提出を電子媒体でも行えるようにする取り組みが拡大しています。奈良県では2014年12月から登山届けのメールでの受付を開始しました。同県警はこれまでホームページ上に登山届けのサンプルを掲載、登山者はこれを印刷して記入のうえ、県警の地域課にファックスや郵送で送っていました。これをメールでも受け付けることにしたものです。

神奈川県では、日本山岳ガイド協会と提携し、同協会が運用する山行管理システム「コンパス」の利用を開始しました。「コンパス」は労山が運用する個人会員制＝ROUSANパートナーズの「安全登山サポートシステム」とほぼ同じ機能を持ち、まず長野県内にかぎって開始されましたが、徐々に各地に広げられています。

労山では、各山岳会・クラブが会員の登山届提出と管理を行うことを基本中の基本としています。しかし、公的機関への届出義務化が広がるなかで、これに私たちがどう対処すべきか、今後、検討が必要になるでしょう。皆様のご意見をお寄せください。

---

#### ▲△4：要望の高かった「奥多摩登山詳細図/西編」が完成 人気の日本百名山・雲取山をカバー

---



元全国連盟会長・守屋益男さんが監修、息子の守屋二郎さんが踏査、情報収集にあたり、登山のお役立ち情報を載せた地図シリーズの首都圏第5作目「奥多摩登山詳細図（西編）」が出版されました。

これには、既刊の「奥多摩東部編」には収録されていなかった雲取山をはじめ、首都圏西域の山が収録されています。発行にあたってはすべて実地に踏査し、各ルートのグレードや歩行時間なども掲載した見やすい大縮尺の16500分の1地図です。

山岳遭難の原因で、最も多いのは「道迷い」です。守屋さんは、詳しい案内が載った地図があれば道に迷うことはないと考え、4年ほど前から、当初は守屋益男さんの所属する労山岡山県連の仲間の協力を得て首都圏の山を調べ始め、2011年から高尾山、奥多摩東部、東丹沢、西丹沢の4山域を出版してきました。その地図が人気をよび広まる中で、新しい首都圏の協力者も増え、5作目となる今回は守屋二郎さんを中心に26名の協力者が調査にあたりました。

本図に収録した奥多摩西部の山々は、東京都最高峰で日本百名山の雲取山を盟主として、

同山から東へ流れる日原川の北に連なる水松山、酉谷山、三ツドッケに至る長沢背稜の山々、日原川の南に連なる七ツ石山、鷹ノ巣山、六ツ石山等の石尾根の山々、そして石尾根から南へ派生し奥多摩湖へ没する各山稜の山々、また奥多摩湖の南に聳える三頭山（1,531m）を盟主とした月夜見山、惣岳山、御前山等の山々です。首都東京が、意外にも西域に奥深い山々を有していることがわかります。

本地図は吉備人出版から発行され、書店やネットで購入できます。詳しくは下記を参照してください。

<http://www.kibito.co.jp/tozan/04.html>

労山会員には特価 800 円でお分けします。全国連盟事務局にメールまたはFAXでお申し込みください。ただし、送料（1部80円）と代金の振込み手数料（80円）が別に必要ですので、1部だけの場合は、店頭等での購入と総額で変わりません。ご注意ください。

▲△5：兵庫労山の最大行事 第49回「六甲全山縦走」が3月8日に

今年も、労山兵庫県連盟最大の行事である「六甲全山縦走」が3月8（日）に行われます。昨年は全縦に3つのコースが設定されて、あわせて1,144名がエントリーし（出走者1,003名）、828名が完走しました。今年も全山縦走、西コース、東コースの3コースの通過ポイントにそれぞれチェックポイント・サポート時間が設定されるなどの運営方法で開催されます。その時間を過ぎると通過できないルールになっていますが、これに対しては走ることを目的とする方は歓迎しません」、是非、春の六甲を楽しみながら歩いてくださいと語っています。

昨年3コースの完走率は全山縦走コース77.52%、西六甲コース88.37%、東六甲コース93.45%で多くの参加者が完走することができました。参加者からはゴールの宝塚（塩尾寺下）では褒美のぜんざいに舌鼓をうち、美味しかった、また参加したいとの声が寄せられています。今年の参加申し込みは、間もなく締め切り（1月末）となりますが、全国から山の仲間の参加を歓迎しています。但し、兵庫労山以外からの参加申し込みは、直接兵庫労山に申し込むのではないので注意してください。以下のHPに掲載されている各会・クラブの連絡先に（どこの会でも問題なく受け付けています）申し込むことになっていますので、多数の人が参加することを期待しています。

<http://www.nextftp.com/hyougo-rousan/front-page/49-zenjyuu-bira.pdf>

**第49回兵庫労山**  
西・東コースも楽しめる  
**六甲全山縦走**  
主催：兵庫県労者山岳連盟 (略称「兵庫労山」)  
★日程 2015年 3月8日(日)  
★参加費 全山縦走 2,000円  
西・東コース 1,800円  
★申し込み締切 1月31日(土) 必着  
参加費を添えて申し込んで下さい。中止の時も参加費が返り出されません。  
★走ることを目的とする方は参加出来ません。  
申込受付期間は2014年12月から2015年1月末日までとなります。  
なお、申込受付窓口は受付期間中に兵庫県労働者山岳連盟のホームページ(「兵庫労山」で検索)のトップページにて受付申込窓口のご案内をいたしますので、そちらから申し込み、お問合せ下さい。  
http://www.nextftp.com/hyougo-rousan/  
ヘッドランプは必須です。不行情の場合は最善策で下山指導します。